



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 尾 崎 敬 則
幹 事 村 上 泰 啓 会 報 委 員 長 小 原 一 眞

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2304

2016-12-16

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Rotary  Rotary Serving Humanity
人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

本日の例会) 12月16日(第3例会)

●3分間情報

杉原 茂会員

●卓話「あなたの人生は？」

永井正美会員

中村嘉孝(岩谷産業(株)中央研究所)

種村泰一(大阪西RC)

張 淵(米山奨学生)

チョウ エン

◆会長の時間◆

今日は、ガバナー月信12月号の記事をご紹介します。まずガバナーメッセージですが、ガバナーは今月の「疾病予防と治療」というテーマにちなみ、My Rotaryから「ヒマラヤでの家庭排気対策プロジェクト」をご紹介します。serviceの相互的行為についても触れられています。また、グローバル補助金については、これはハードルは高いが、是非、来年度以降の実施への立案に挑戦してほしいとのことです。このほか月信には、大阪アーバンRCがホストを務めた10月8日からの秋のRYLAセミナーの報告や、張さんが最優秀賞を受賞されたスピーチコンテスト、浅井会員が米山功労賞2回目をお受けになったこと、大阪西南RC 四宮孝郎氏を2019-2020年度第2660地区ガバナー候補者として正式決定したことなども掲載されています。以上、詳しくは月信をご覧ください。また、My Rotaryにもご登録されるようお願いいたします。

次週のお知らせ) 12月23日(第4例会)

休 会

次々週のお知らせ) 12月30日(第5例会)

休 会

次々次週のお知らせ) 1月6日(第1例会)

●例会時間・場所変更 18:00 ~
シェラトン都ホテル大阪 20階 クリスタルルーム

●表彰・ホームクラブ連続皆出席

●お祝・年男 米寿 還暦 誕生日
結婚記念日 入会記念日
会社創立記念日

●年頭挨拶 尾崎敬則会長

●年男の辞 畑田 内藤 大原 山下 西澤
池宮 各会員

●理事会 16:00 ~ 16:30
事務局(谷町9-1-22 NK谷町ビル 407号)

●食膳 <日本料理 新春特別料理>

◆幹事報告◆

大阪うつぼロータリークラブから下記の例会場変更の連絡が来ておりますのでご報告いたします。

2017年1月~(新年第1回例会日1月10日(火))

例 会 場:ホテルモントレ大阪

例会曜日:火曜日

例会時間:18:00

先週の記事) 12月9日(第2例会)

●出席報告

出席会員 37名(内免除会員 10名)

会員総数 51名(同上 17名)

ゲスト 2名

ビジター 2名

計 41名

ホームクラブ出席率 84.09%

11月25日(第4例会) 補正出席率 100%(MU 4名)

●ゲスト&ビジター(敬称略)

繁森 敦

(卓話者、岩谷産業(株)中央研究所)

◆委員会報告◆

「ロータリーの友」12月号紹介

雑誌・広報副委員長 鈴木良造

横組記事

P3. RI会長メッセージ

「見ず知らずの人たちを支援する」

私たちが手を差し伸べる人たちは、ロータリアンに会ったことがないかもしれないし、ロータリアンの存在さえ知らないかもしれない。これらの人たちは、より幸福でより健康的な生活を送っている。なぜなら「人類に奉仕するロータリー」だからだ。

12月は疾病予防と治療月間です!!

<4つのテスト> 言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

P20.「緊急事態に迅速に 대응するシェルターボックス」
RIが行っているボランティア活動で、災害時にロータリーのロゴが入った緑のボックスにテントなど必要物資を被災地に届ける活動。

P27.「世界のロータリーニュース」(中国)
中国には8,200万人の障がい者がいる。「残廢」と言われ、障がいがあり使いものにならないとの意。上海RCが手を差し伸べている事例。

P36.「あなたはロータリアンとして若すぎ」
「友」編集長の二神さんが、「いくら若くても若すぎる」と同様に「いくら年をとってから入会しても年齢が高すぎる」ということはない。

縦組記事

P4.「わが社の震災復興への取組み」
福島ヤクルト 渡邊会長が渋沢栄一氏の教えを述べ、苦しくともリストラしないを行った。震災で人の奉仕、人の親切を学んだ。

当社は、2002年に国内初の実証用水素ステーションを建設して実証を進めるなど、水素エネルギーのパイオニアとしての役割を担ってきました。水素エネルギー社会の早期実現に貢献すべく、今後も水素事業の一層の拡充に取り組んでいきます。



▲お誕生日 岡部(倫)会員、梅崎会員、尾崎会員



▲結婚記念日 大原会員、山下会員、南賀会員

卓話

12月9日 <第2例会>

「水素エネルギー会社の展望」



岩谷産業(株) 中央研究所
副所長 繁森 敦氏

当社は、70年以上も前から水素に着目し、いち早く水素の製造、輸送・貯蔵、利用まで一貫した取り組みを行ってきました。国内で唯一、液化水素の製造・供給体制

を整備しています。

水素は究極の循環型クリーンエネルギーとして注目されていますが、世間一般では爆発するので危険という認識を持たれています。しかし、天然ガスやLPガスと同じ「燃える」物質であることに気がつけば、水素だけが特別に危険なわけではありません。実際、1970年代頃までは、水素を50%以上含んだガスが都市ガスとして各家庭に供給され、消費者は水素とは知らずにそのガスを鍋の煮炊きや風呂沸かしに使っていたのです。

2015年は「水素社会元年」と言われ、トヨタ自動車が燃料電池自動車(FCV)「MIRAI」の市販を開始するとともに、水素供給インフラの整備として水素ステーションの建設が進められました。また2016年3月には本田技研工業がFCV「クラリティフューエルセル」のリース販売を開始。燃料を供給する水素ステーションも4大都市圏を中心に78箇所の運用が始まっており、2016年はますます水素エネルギー社会が身近なものとして感じられる年になっています。

水素エネルギー社会の実現に向けて、様々な研究や実証が世界各地で行われていますが、水素エネルギー社会を実現するためには、水素発電の普及が不可欠と言われています。水素発電は大量の水素を消費するため、今後、その供給に向けた水素製造・輸送・貯蔵技術等の開発が必要です。

にこにこ箱

12月9日(第2例会)

- ・ゲストスピーカーに岩谷産業(株)中央研究所の繁森様をお迎えして。 佐伯会員
- ・家族会では西澤委員長はじめ皆様大変お世話になりました。 三宅会員
- ・尾崎会長、西澤委員長、浅井先生ご夫妻、山本(智)会員ご家族様、城南RCの皆様、愚息が大変お世話になりました。 村上(武)会員
- ・家族会、防災の夕べ、総会。皆様のご協力とご支援で無事終える事が出来、ありがとうございました。 尾崎会員
- ・先週の家族会では多数のご参加、有難うございました。皆様お楽しみ頂けたでしょうか？春の家族会も、ご参加よろしくお願ひ致します。 西澤会員
- ・1年がすぎました。今後共、宜しくお願ひします。 室谷会員
- ・家族会のビンゴゲームで良い賞品を頂きました。 西村会員
- ・家族会でお世話になり、親睦・出席委員長賞を頂き有難うございました。 杉原会員
- ・西澤親睦・出席委員長はじめ委員の皆様、年末家族会お世話になりました。池宮さん、おかげ様で親孝行できました。 南賀会員
- ・他、お祝い 12件

(編集担当 小原・室谷)

会員増強にご協力を!!